

**< 都条例 > 記載例**

第 3 5 号様式 (第 60 条関係)

石綿飛散防止方法等計画届出書

令和 4 年 6 月 15 日

東京都知事 殿

住所 東京都〇〇区〇〇町 1-2-3  
〇〇商事株式会社

氏名 代表取締役 〇〇 太郎  
法人にあっては名称、代表者の  
氏名及び主たる事務所の所在地

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第 124 条第 1 項の規定により、次のとおり届け出ます。

届出対象特定工事の名称		〇〇市〇〇4-5 〇〇商事〇〇営業所改修工事 <b>以下の項は適宜、別紙に記載</b>
石綿の飛散防止方法	作業場の隔離方法	詳細は、別紙 (工事施工計画書) のとおり
	作業場の集じん・排気装置の能力等	集じん効率 99.97 % 作業場の負圧確保に必要な排気風量の計算根拠 作業場の容量 330 m <sup>2</sup> × 高さ 3 m = 990 m <sup>3</sup> 必要な排気風量 990 m <sup>3</sup> ÷ 15 分 = 66 m <sup>3</sup> /分 排気能力 40 m <sup>3</sup> /分 × 2 台 = 80 m <sup>3</sup> /分
	集じん・排気装置等の維持管理	作業場の隔離状態の維持 詳細は、別紙 (工事施工計画書) のとおり 集じん・排気装置の性能確保のための維持管理 詳細は、別紙 (工事施工計画書) のとおり
	隔離用シートの撤去	詳細は、別紙 (工事施工計画書) のとおり
排水の処理	排水の発生なし <b>排水がある場合は別紙等で内容を記述</b>	
石綿濃度の測定	詳細は、別紙 (工事施工計画書) のとおり	
粉じん飛散防止方法	除去前、粉じん飛散抑制剤を石綿に散布する。 除去後、粉じん飛散防止処理剤を散布する。	

備考 1 届出対象特定工事の名称欄には、大気汚染防止法施行規則に規定する様式第 3 の 5 に記載する届出対象特定工事の名称を転記すること。  
2 この様式各欄に記入しきれない場合は、別紙に記入し添付すること。  
3 標準作業工程図 (吹付け石綿並びに石綿を含有する断熱材、保温材及び耐火被覆材の除去等の作業の流れが分かるもの) 及び工程表を添付すること。